



平成 25 年 3 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 百五銀行  
代 表 者 名 取締役頭取 上田 豪  
コード番号 8368 東証第 1 部 名証第 1 部  
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 寺尾 正紀  
(TEL 059-227-2151)

### 中期経営計画の策定について

百五銀行（本店 三重県津市、頭取 上田 豪）は、今後 3 年間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）を計画期間とする中期経営計画を策定いたしましたので、その内容について下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1 新中期経営計画の策定経緯

新たな中期経営計画の策定にあたっては、中長期的に予想されるさまざまな環境変化にも磐石かつ柔軟に対応できる当行の将来あるべき姿を描きました。

人口減少や少子高齢化といった社会構造の変化や経済のグローバル化といった時代の荒波は、地方銀行に生き残りをかけた「ビジネスモデル」の変革を求めているといえます。

また、税制、雇用、年金等の制度変更があり、さらには金融マーケットの状況が大きく変動することも想定されるなど、これらの変化が経営に与える影響もしっかり見定めることが必要となります。

一方で、“地域を元気にすること”や“地域のお客さまを大切にすること”といった地方銀行としての永久不変の使命があります。

こうした守るべき使命をしっかりと果たしつつ、厳しく困難な経営環境という荒波を乗り越えるために、“その方向性を正しく指し示したい”そして“進化し続けていこう”との想いを込めて、新中期経営計画の名称は『進化への羅針盤』といたしました。

新しい百五銀行を、そして輝かしい未来を創るためにも、本計画のもと、役職員が一丸となって取り組み、今後もお客さまや株主の皆さまのご期待に応え、業容の拡大と磐石で安定した経営体質を維持してまいります。

#### 2 計画名称

「進化への羅針盤 2015」～新しい百五を、未来を創ろう。～

### 3 基本方針

- 「お客さまを大切にしよう」
- 「地域社会に貢献しよう」
- 「百五の営業力を存分に発揮しよう」
- 「経営基盤を確固たるものにしよう」
- 「総合金融サービスを提供しよう」

### 4 ビジョン

地域で絶対的な信頼を得て、健全・堅固な経営体質のもと、  
地域とともに成長・発展するエクセレントリージョナルバンク

### 5 基本戦略

#### (1) 営業基盤の拡充

マーケットの大きい愛知県への攻勢を加速させ、海外マーケットの需要を積極的に取り込むことで、営業基盤の拡大を図ります。

店舗ネットワークの再構築や個人・リテール法人営業の体制を強化することで、営業基盤のさらなる充実を図ります。

#### (2) 収益基盤の確立

将来の預金減少時代を見据え、当行の持続的成長を左右する預金を増強するとともに、リテール営業体制を再構築し収益向上を図ります。

有価証券運用力の強化や、新たな収益機会への取組みを進めることで、収益基盤の確立を図ります。

#### (3) 地域プレゼンスの向上

地域資源の再開発や企業再生への取組みにより、地域で圧倒的な存在感を示す銀行をめざします。

地域の活動や環境保護への協働・支援や地域メセナへの貢献を強化します。

#### (4) 期待を信頼に繋ぐサービスの実現

百五グループが総力を結集し、お客さまの期待に応えるサービスを実践することで、お客さまとの長期的な信頼関係を築き、決して離れることのない百五ファンを増やします。

#### (5) 業務効率化の追求

厳しい経営環境にも耐えられる「強い百五」をめざし、営業店BPR・本部BPRに徹底的に取り組めます。

新本館建設を機に本部組織・グループの戦略的再編を実施し、業務効率の向上を図ります。

#### (6) 経営管理態勢の強化

「堅実経営」の伝統をしっかりと継承し、ガバナンスの強化に取り組んでいきます。

リスク管理態勢の高度化やALM運営の強化によって、経営管理力のさらなる強化を図ります。

#### (7) 魅力に満ちた職場作り

全職員がいきいきと「やりがい」や「働きがい」を感じて、安心して働ける人事制度、キャリアパス制度の構築をめざします。

ダイバーシティプロジェクトを推進します。

**6 数値目標（平成27年度）**

総預金平残（譲渡性預金含む）	4兆5,000億円以上
総貸出金平残	2兆8,000億円以上
当期純利益	70億円以上
不良債権比率	2.8%以下
コア資本比率	10%以上

**7 添付資料**

新中期経営計画（概要）

以 上

中期経営計画

「進化への羅針盤 2015」～新しい百五を、未来を創ろう。～  
(計画期間 2013年4月～2016年3月)

《 基本方針 》

1 お客さまを大切にしよう

- ・ お客さまのためになることを考えよう
- ・ お客さまの本当のニーズに耳を傾けよう

2 地域社会に貢献しよう

- ・ 地域社会への十分な資金供給、企業間の橋渡しなど地域経済の活性化に貢献しよう
- ・ 環境問題、メセナなど地域社会になくってはならない活動をしよう

3 百五の営業力を存分に発揮しよう

- ・ 行員一人ひとりが自ら考え、お客さまに最適なサービスを提供しよう
- ・ 三重県マーケットは深掘りし、愛知県マーケットは拡大しよう
- ・ 常にグローバルな目線でお客さまに質の高い提案をしよう

4 経営基盤を確固たるものにしよう

- ・ 経営効率を重視し、生産性を上げよう
- ・ コンプライアンスを徹底し、リスクをコントロールしよう

5 総合金融サービスを提供しよう

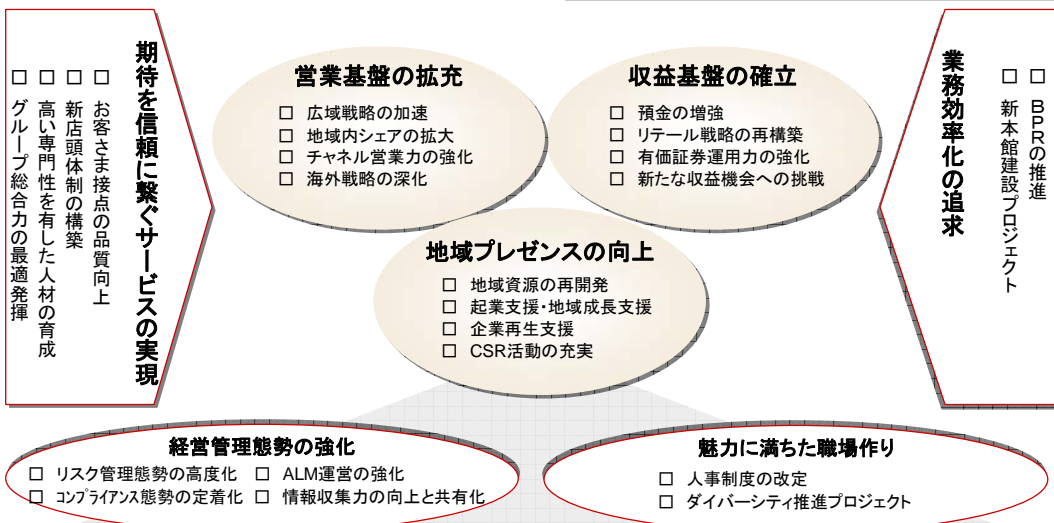
- ・ 百五グループの商品、サービスでお客さまに最高の金融サービスを提供しよう

全体像

「進化への羅針盤 2015」  
～新しい百五を、未来を創ろう。～

最終年度の計数目標

- 預金等平残 4兆5千億円以上 □ 貸出金平残 2兆8千億円以上
- 当期純利益 70億円以上 □ 不良債権比率 2.8%以下
- コア資本比率 10%以上



外部環境

- 人口減少社会の到来
- 少子高齢化
- 地域経済の低迷
- 低金利政策の継続
- 消費税率の引き上げ
- 金融円滑化法の終了

当行の課題

- 収益性の向上
- 預貸率の改善
- 金利リスクの抑制
- 営業の効率化
- CSマインドの向上
- 新本館建設への対応